

「樗谿」の歩き方

▼東照宮のおひざもと▲

今回は鳥取市歴史博物館やまびこ館のある「樗谿」(鳥取市上町)を深掘りします。今から三十七四年前、初代藩主池田光仲は、曾祖父徳川家康をまつる東照宮をここに樗谿に建造しました。

やまびこ館にお越しの際には、あわせて歴史と自然の詰まった樗谿も楽しんでいただきたいと、その魅力をささやかな散策ガイドにしました。では樗谿の入口付近から東照宮の参道を歩いていきましょう。



エリアA 樗谿入口周辺

やまびこ館駐車場(第二)の横、バス停付近に、江戸時代は大きな鳥居がありました(今は参道奥にあり)①。当時はここが東照宮の入口でした。お殿様もここで馬を下ります。付近には東照宮と同じ時期に出来た上町の町屋があり②、八百屋たばこ屋、館屋などが並んでいました。その角には、鳥取藩の下級武士で明治大学を創立した岸本辰雄も住んでいたといわれています。その跡地周辺には解説板も設置されています(銅像は県庁前にあります)③。



参道の右には鳥取市指定文化財の樗谿グラウンドアパートがあります④。その裏山の中腹には大正三年(一九二四)まで鳥取の産土神(土地の守護神)長田神社がありました⑤。東町に移転して今年ちょうど百年です。この辺りは上町が出来た前は農村があったといわれ、東照宮を造る前に集落を移動させたといえます。それが鳥取市小西谷の集落です。

エリアB 樗谿公園周辺

参道の左、樗谿公園の梅園芝生緑地の所は、明治二年(一八六九)まで東照宮別当

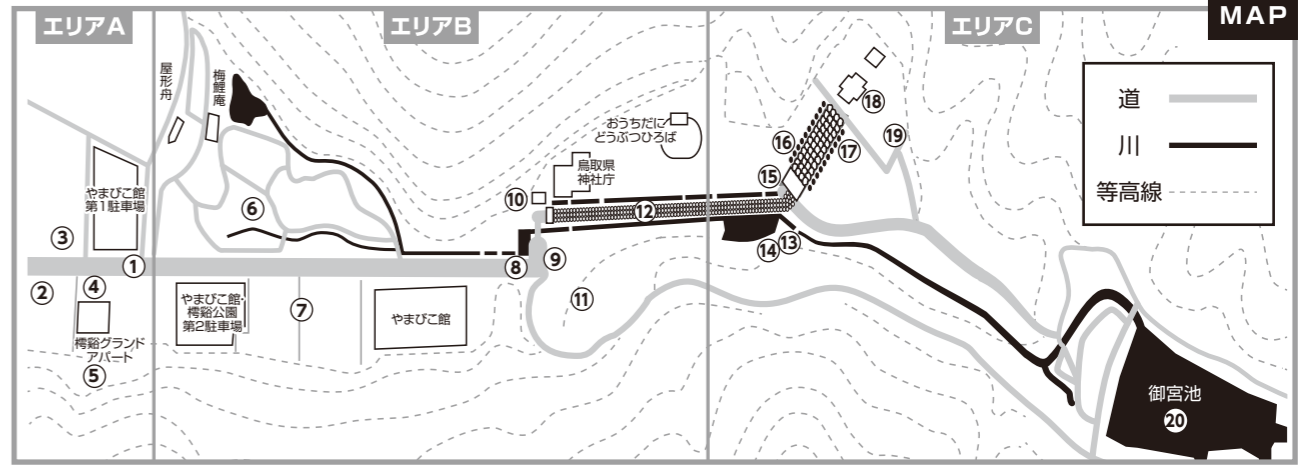
寺の大雲院がありました⑥。その御霊屋には徳川家康ほか歴代将軍の位牌が安置され、今も移転した立川町の大雲院の大師堂として残されています。天保九年(一八三八)の建築です。

大雲院の跡地には護国神社(旧招魂社)が移ってきます。昭和四九年(一九七四)に鳥取市浜坂の砂丘地に移転するまでここにありました。明治維新の戊辰戦争から昭和の戦争で亡くなつた方々をおまつりした神社です。

やまびこ館のある参道右側は、大雲院の塔頭寺院が四軒並んでいました⑦。明治維新で転出しますが、中でも吉祥寺(岩美町)や成就院(鳥取市岩坪)が系譜を受け継ぎ残っています。この辺りは戦後、理容美容専門学校があった場所です。寄宿舎もありました。ここに通つた理美容師さんが今も活躍しています。



参道の正面に見える鳥居は、①から二段階で⑧の位置に移動したものです。現在の鳥取東照宮の入口です。その後ろには昭和五年落成時に設置された「樗谿公園」の石柱が建っています⑨。参道はここでカギ型に屈曲します。左にある権現茶屋はかつて東照宮の門番所があったところ⑩。右手には巨大な杉が見えます。



す。樗谿で二番目に大きな杉の木です⑪。東照宮まで続く石畳の参道は、江戸時代のみで、爛漫と咲きほこる桜の名所でした⑫。

エリアC 東照宮の周辺

参道奥にはかつて弁財天を祀っていた弁天池(王子の池)があります⑬。普段は気付きませんが、池の奥には江戸時代につくられた滝壺があります。現在は水脈が途絶え滝はありませんが、御宮池が水源でした。滝壺の横にはよく見ると「王子の池」と刻まれた明治四五年の石碑が建っています⑭。

左側の隨身門⑮は弘化三年(二八四六)に建て替えられています。御神輿が門をくぐれなかったからだそうです。隨身門を通ると石畳が続きます。左右には鳥取藩の上級家臣十名が二基ずつ奉納した石燈籠があります⑯。左右に對しては、江戸時代から右の奥から2基ずつ並んでいるのは不思議です。石畳の石はほとんど花崗岩ですが安山岩が2つだけ含まれています。樗谿の北側の山は花崗岩、南側の山は安山岩の地層だそうです。

正面には、見事な石壇と切り込み接ぎ隙間なく積み上げた石垣の石垣を見ることが出来ます⑰。東照宮の土台となる巨大な基壇石亀腹石のほか本殿前(二代藩主綱清の幼名)寄進の石燈籠は大坂の職人の作と記録にあります。年号のある石燈籠の中では、今のところ鳥取県内で最も古いものです。三十七四年前に建てられた東照宮の本殿・唐門・拜殿及び幣殿は⑱、昭和二七



東照宮から谷をさかのぼると御宮池があります⑲。公園が落成した昭和初期には土産を売る店があり、ポルトが楽しめたそう。東照宮が出来た江戸時代以降は「御宮池」と称されるようになりましたが、それ以前は樗谿の入口付近にあった農村の溜池だったと思われま



また建築当初、境内にはたくさん杉や松が植えられたことが文獻に書かれています。樗谿で最も大きな木は拜殿の右にそびえる杉の木です⑲。高さ約四五m、幹回りは一五三〇cm以上あります。年輪の調査から東照宮の建設当初に植えられた木であることがわかっています。

徳川家康と鳥取藩主池田家

幼少期を江戸で過ごした池田光仲は九歳で初参上。最初に着手した大事業が東照宮の建造でした。祖父池田輝政の夫人は家康の娘督姫(良正院)。東照宮を鳥取城下に祀り徳川家康の血縁であることを藩領民に示すねらいがあったのだと思います。明治時代には徳川家と血縁の深い旧藩主、忠継・忠雄・光仲・慶徳の祭神を加えて五柱とし、「樗谿神社」と社号をかえますが、平成三年(二〇一一)には鳥取東照宮とします。江戸時代の鳥取東照宮の社領は五百石。全国各地に建てられた東照宮の中でも屈指の規模で全国有数の東照宮なのです。

楽しく学ぼう！見学プログラムを活用

●やまびこ館
やまびこ館の千葉さんに「昔の暮らしを知ろう！」というテーマで洗濯機の歴史についてお話を伺いました。200年前の様子や手回し洗濯機を見て、道具が進化したことが分かりました。常設展示では、縄文時代から古墳時代までの土器や当時の暮らしの様子について学習させていただきました。

●高砂屋
2階の和室でお弁当を食べた後、施設の方に「高砂屋」の名前の由来や、今も鳥取の人たちに

●仁風閣
館長さんに仁風閣の歴史と建物の特徴のお話を伺いました。施設内の見学では、子どもたちは「エジソン電球や螺旋階段、天井の高さ、暖炉など、特別な建築様式で建てられたことに驚いていました。」

●(まとめ)
大型バスに乗り、鳥取市内の歴史の建物を見て回ったり、施設の方の話を伺ったりして、学校の中では学ぶことができない、すてきな経験と思いができました。子どもたちは、施設の方の話をよく聞き、質問をしたり、メモを取ったりして一生懸命学習に取り組みしていました。見学後、学んだことを新聞にまとめ、校内に掲示しました。今後も、鳥取市について学習を深めていきたいと思

●(まとめ)
3年生、4年生、5年生がやまびこ館と仁風閣を見学しました。やまびこ館では、前半は学年ごとに分かれ「昔のくらしと道具」

●佐治小学校 3・4・5年生
と「鳥取と災害」についてのミニ授業を受けました。館内に展示してある、本物を見ながらの学習で教科書や資料集だけではわからない実物をしっかりと記憶と心に刻むことができました。

後半はバックヤードを見学しました。館内の温度や湿度を一定に保つための大きな機械や大きいものでも一度にたくさん運べる貨物エレベーター、貴重な資料が取られていた取蔵庫などを見させていただきました。所蔵品を多くの人々の目に触れ、知ってもらい、後世に引き継ぐための工夫をしているというお話も伺いました。普段は入ることができない場所

●佐治小学校 3・4・5年生
を見学させていただきました。子どもたちは「こんな大きなエレベーターがあるなんて知らなかった」「ここにあれば貴重な物も安心」など驚いていました。

見学後は会議室を利用してお弁当を食べさせていただきました。前日が雨のため、樗谿公園での昼食は断念しましたが、子どもたちは見学したことを話しながらゆつくりと昼食をとることができ、雨天時でも安心して予定を組むことができました。

鳥取市歴史博物館 やまびこ館 〒680-0015 鳥取県鳥取市上町88 TEL.0857-23-2140 FAX.0857-23-2149	鳥取市因幡万葉歴史館 〒680-0146 鳥取県鳥取市因幡町屋726 TEL.0857-26-1780 FAX.0857-26-1781	城下町とつり交流館 高砂屋 〒680-0046 鳥取県鳥取市元大工町1 TEL.0857-29-9024 FAX.0857-29-9039	鳥取市あおや郷土館 〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷2990-4 TEL-FAX.0857-85-2351
鳥取市あおや和紙工房 〒689-0514 鳥取県鳥取市青谷町山根313 TEL.0857-86-6060 FAX.0857-86-6061	鳥取城跡・仁風閣展示館 〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-121 TEL.0857-26-3595 FAX.0857-22-4699	鳥取市埋蔵文化財センター 〒680-0007 鳥取県鳥取市湯所町1丁目148-2 TEL.0857-22-0366 FAX.0857-21-6096	※仁風閣は休館中(ガイダンス施設は開館)です。 ※鳥取市埋蔵文化財センターは見学施設ではありません。

博学連携だより 26号

2024年3月31日
 発行 (公財)鳥取市文化財団 博学連携推進プロジェクト
 事務局 問い合わせ先 鳥取市文化財団事務局 鳥取市歴史博物館

社会科

鳥取市のうっとり変わり・古くから残る建物

やまびこ館・高砂屋・仁風閣

用瀬小学校3年生



暖炉の上はどうなっているのかな?(仁風閣)

大切に使われていることを教えていただきました。特徴的な壁の模様や柱時計、蔵の中など施設の中を見学させていただきました。

4年生は社会科で、「和紙づくりのさかんなところ」青谷佐治「」の学習をしています。今回鳥取市文化財団の博学プロジェクトのバス支援と鳥取県文化財課のふるさと未来創造工場の事業を利用させていただき、原料(こうぞ)の収穫から和紙ができるまでの工程を体験しました。子どもたちは「ひとつの作業を因州青谷(こうぞ)紙手すき和紙保存会の方々に丁寧に教えていただき、楽しみなで体験することができました。原料になる皮をきれいにするのは大変だったけど、とても大事な工程だと思った」「厚さが同じになるように手漉きをするのが大変だったなどそれぞれの作業の大変さと大切さを感じていたようです。体験後、子どもたちはたくさん質問し、職人の方々は伝統を守ることの大切さや大変さ、やりがいをお話くださいました。教科書だけではわからない実物をしっかりと記憶と心に刻むことができました。

後半はバックヤードを見学しました。館内の温度や湿度を一定に保つための大きな機械や大きいものでも一度にたくさん運べる貨物エレベーター、貴重な資料が取られていた取蔵庫などを見させていただきました。所蔵品を多くの人々の目に触れ、知ってもらい、後世に引き継ぐための工夫をしているというお話も伺いました。普段は入ることができない場所

●佐治小学校 3・4・5年生
を見学させていただきました。子どもたちは「こんな大きなエレベーターがあるなんて知らなかった」「ここにあれば貴重な物も安心」など驚いていました。

用瀬小学校行程 学校 8:30-8:50 とうふくわの里 10:30-10:50 やまびこ館 12:10-12:20 高砂屋 13:40-13:50 仁風閣 15:00-15:30 学校	散岐小学校行程 学校 8:30-9:20 あおや和紙工房 14:05-14:15 あおや郷土館 15:00-16:00 学校
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

鳥取市歴史博物館 やまびこ館 〒680-0015 鳥取県鳥取市上町88 TEL.0857-23-2140 FAX.0857-23-2149	鳥取市あおや和紙工房 〒689-0514 鳥取県鳥取市青谷町山根313 TEL.0857-86-6060 FAX.0857-86-6061
------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

鳥取市因幡万葉歴史館 〒680-0146 鳥取県鳥取市因幡町屋726 TEL.0857-26-1780 FAX.0857-26-1781	鳥取城跡・仁風閣展示館 〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-121 TEL.0857-26-3595 FAX.0857-22-4699
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

城下町とつり交流館 高砂屋 〒680-0046 鳥取県鳥取市元大工町1 TEL.0857-29-9024 FAX.0857-29-9039	鳥取市あおや郷土館 〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷2990-4 TEL-FAX.0857-85-2351
------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

バス利用を支援します～博物館★MUSEUMをめぐる事業～

財団施設までの移動手段として、バスを借り上げて学校に貸し出します。



- ①バス貸借費用を1校につき上限50,000円、2台以上の場合および2校以上合同の場合は、上限100,000円まで補助します。上限を超過した経費については各校で負担していただきます。
- ②利用に際しては、2つ以上の財団施設の見学プログラムを指定して下さい。
- ③同日に財団施設以外の社会見学を組み込むことも可能です。スケジュール調整は、各校で行って下さい。

【利用の流れ】

- ①まず、鳥取市歴史博物館・博学担当(0857-23-2140)にご希望のプログラムと日時をお知らせ下さい。
- ②行程が決まりましたら、所定の書式に記入して4週間前までに鳥取市歴史博物館にFAX(0857-23-2149)して下さい。
※行程の書式は鳥取市文化財団博学連携推進プロジェクトのホームページからダウンロードできます。やまびこ館は団体利用申込書、万葉歴史館はガイド申込書が必要です。それぞれのホームページから書式をダウンロードしてください。
- ③鳥取市文化財団がバスを手配してお知らせします。規定額を超えた場合は請求させていただきます。

鳥取市歴史博物館 やまびこ館

展示やバックヤードなどを解説する館内見学、写真やスライド、実物資料を使ったミニ授業、館外を案内するミニ散策、クイズラリーなど、博物館内外で鳥取市の歴史を学習できるプログラムを用意しています。館内見学とミニ授業の2つを行うなどプログラムを組み合わせることもできます。下記プログラム以外でも、学習課題に合わせて対応しますので、お気軽にご相談ください。

組み合わせの例

- (1) ①展示見学(30分) + ⑦ミニ授業(30分)……60分コース
- (2) ⑨ミニ散策(45分) + ⑩クイズラリー(45分)……90分コース

博物館見学 ～探検やまびこ館！

- 場所 常設展示室、特別展示室
- 時間 30分～1時間 (短縮・延長可)
- 内容 解説を聞きながら常設展示や特別展示を見学します。ご希望の時代やテーマに合わせることもできます。



常設展示解説

① 常設展示見学コース

鳥取市の歴史を先史時代から現代まで通史的に学ぶことができます。

② 企画展示見学コース

期間限定の展示を通じて、鳥取の歴史を学ぶことができます。各展示については、年間行事予定表などをご参照ください。

③ バックヤード 見学コース

普段は見ることのできないバックヤードを見学して、博物館の役割について学びます。



バックヤード見学



榑谿公園 利用申込み先 梅鯉庵 TEL.0857-20-1496

お弁当可

雨天時はやまびこ館研修室をご利用ください。



令和6年度

鳥取市文化財団各施設に おまかせ!

見学プログラム



- ★学芸員、スタッフ、ボランティアガイドがご案内します。
- ★学校利用の場合、引率者を含め入館料は無料です。
- ★見学プログラムの内容については各施設にお問い合わせ下さい。
- ★実施時期によっては、ご希望に沿えないこともありますので予めご了承下さい。
- ★①～⑯以外のテーマについても可能な限り対応させていただきます。各施設にお尋ね下さい。
- ★昼食の場所についてもご相談下さい。(人数制限あり・要予約)

ミニ授業 ～資料から鳥取の歴史を学ぼう！

- 場所 まなびの広場
- 時間 30分程度(短縮・延長可)
- 内容 実物の資料や写真などを通じて鳥取の歴史を学ぶ、学芸員の特別授業です。

④ 鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町

江戸時代の鳥取、特に殿さまやお城、城下町に関する内容です。
キーワード 池田家、城下町、鳥取城、宮部継潤、亀井茲矩 etc

⑤ 戦国時代の鳥取(天正9年鳥取城攻め)

戦国時代の鳥取、特に鳥取城攻めや吉川経家に関する内容です。
キーワード 戦国時代の鳥取、山名氏、吉川経家、天正9年の鳥取城攻め etc

⑥ 昔のくらしと道具

先史から近代までの暮らしと道具に関する内容です。
キーワード 農具、冷蔵庫、洗濯、料理 etc



これは何かな?

⑦ 鳥取と災害

鳥取の経験した災害について知る内容です。
キーワード 地震、水害、火災 etc



ミニ授業「鳥取と災害」

⑧ 鳥取の人たちが経験した戦争

戦争と鳥取との関わりを通じて平和について考える内容です。
キーワード 四十連隊、戦争遺跡 etc

ミニ散策 ～博物館の外へ飛び出そう！

- 場所 榑谿公園、鳥取東照宮
- 時間 45分～(短縮・延長可)
- 内容 公園と神社の歴史を知る、博物館外での学習プログラムです。



鳥取東照宮を散策

⑨ 榑谿公園と鳥取東照宮を歩こう

キーワード 東照宮、榑谿公園、池田光仲、屋形船、標準木 etc

クイズラリー ～楽しく学ぼう！

- 場所 館内
- 時間 45分～1時間
- 内容 展示を見て簡単なクイズに答え、解説を聞きながら答え合わせをします。



クイズラリー

⑩ やまびこ館クイズラリー

鳥取市因幡万葉歴史館

⑪ 因幡国府の歴史・文化をさぐる

- 場所 鳥取市因幡万葉歴史館
- 時間 1時間程度
- 内容 因幡国府で花ひらいた古代の文化や貴重な遺跡、麒麟獅子舞や因幡の傘踊りなど民俗文化の解説をします。



因幡の古代展示室



麒麟獅子頭(複製)

⑫ 万葉と神話の庭で万葉集をみつけよう！

- 場所 鳥取市因幡万葉歴史館 (万葉と神話の庭)
- 時間 30分～1時間
- 内容 万葉集に詠われた約50種類の植物が彩る回遊式庭園で、古代の人々が自然にこころを寄せて詠った歌を見つけ、万葉集の世界を体感します。



万葉と神話の庭



国史跡ネットワーク案内広場

雨天時は、別途ご相談ください。

高砂屋

⑬ 明治時代の商家の建物

- 場所 城下町とっとり交流館 高砂屋
- 時間 30分～1時間
- 内容 明治時代の商家の建物と蔵を見学して、建物のつくりと当時の鳥取の城下町の様子について学ぶことができます。



登録有形文化財の建物の歴史を学習



お弁当可

雨天時、お弁当だけの利用も可能です。

鳥取市あおや和紙工房

⑭ 和紙の里でつくる、世界にひとつだけの和紙

- 場所 鳥取市あおや和紙工房
- 時間 1時間
- 内容 伝統工芸品である因州和紙について技術、歴史などを学ぶことができます。さらに、自分でデザインした手すき和紙づくりを体験することもできます。

- A3 1枚 ……500円(20名以上400円)
- A4 1枚 ……400円(20名以上320円)
- ハガキ1枚 ……300円(20名以上240円)
- A4 ミニランプ(LED) ……1,500円(20名以上1,200円)



お弁当可

多目的ホールでお弁当が食べられます。

紙すき体験



紙すきランプシェード



体験によるオリジナル和紙

鳥取市あおや郷土館

⑮ 山陰海岸ジオパーク 鳴り砂の浜と夏泊の海女漁

- 場所 鳥取市あおや郷土館、青谷海岸、夏泊神社等
- 時間 1時間～2時間(あおや郷土館常設展示のみは30分程度)
- 内容 山陰海岸ジオパークの構成要素である青谷町の「鳴り砂の浜」や「夏泊の海女漁」の歴史について、鳥取市あおや郷土館の常設展示や現地で見学します。天気が良ければ、青谷海岸を歩いて鳴り砂の音を聞いたり、夏泊の獅子岩などの奇岩を見たりすることができます。また、夏泊神社では青谷出身で江戸時代の石工・川六(かわろく)作の狛犬や鳥居を見ることができます。



あおや郷土館ジオパークコーナー



夏泊の獅子岩

⑯ 山陰海岸ジオパーク 子守神社・不動滝

- 場所 鳥取市あおや郷土館・子守神社・不動滝
- 時間 1時間～2時間(移動時間を含む)
- 内容 鳥取市あおや郷土館で山陰海岸ジオパークのジオサイトである子守神社や不動滝について学び、現地を見学します。



子守神社



不動滝